栃木県知事トップセールスによる販路開拓

シンガポール事務所

栃木県は、2014 年 10 月 16 日（木）から 18 日（土）にかけて、県産品をアピールするトップセールスをシンガポールで実施しました。期間中には「Oishii Japan 2014」への出展に加え、日系百貨店での「とちぎ農産物フェア」や飲食店でのバイヤー向けの県産農産物等食材提案会等を開催しました。

１　見本市で初めての県産品 PR

今回で第３回目を迎える日本食の総合見本市「Oishii JAPAN 201 4」には、日本全国から 266 社・団体が出展しました。このうち栃木県は初めての参加で、「とちぎ和牛」や梨の「にっこり」などの農畜産物、県産日本酒や加工食品などを扱う 13 社・団体が出展し、シンガポールをはじめとする ASEAN 諸国の流通関係者との商談や情報収集を行いました。

栃木県ブースの様子

福田富一栃木県知事をはじめ、農業団体等の関係者は、「とちぎ和牛」や「にっこり」を来場するバイヤー等に試食ＰＲしました。とちぎ和牛は肉質が柔らかく、食味も優れた霜降り肉で、高級牛として評価も高いといった特徴を説明するなど、栃木県産の豊かな食材や多彩な加工食品についてＰＲしました。

さらに日系レストラングループや日系スーパー等を訪問し、栃木県産の農産物等の取扱いについて意見交換を行うとともに、栃木県産食材を使った食材提案会も流通関係者等を集めて開催されました。

２　とちぎ農産物フェアで消費者に PR

10 月 17 日～10 月 26 日に日系百貨店において、（一社）とちぎ農産物マーケティング協会主催による「とちぎ農産物フェア」が開催されました。これは、5 月に原子力災害に伴う輸入規制が緩和されたことを受け、シンガポールでの栃木県産農産物等の販路開拓を本格始動させたものです。

フェア初日となる10月17日には、福田知事をはじめ、農業団体が会場で、梨の「にっこり」や米の「なすひかり」、トマト等のＰＲ及び販売促進を実施しました。

大きいものでは 1kg を超え、見た目も味も迫力のある「にっこり」を福田知事自ら来店者に試食ＰＲし、買い物客からは「にっこりは、大きくてみずみずしく美味しい。」と好評でした。

店頭で「にっこり」を配布する福田知事

３ 今後の販路拡大に向けて

香港では 2012 年 ３ 月に原子力災害に伴う牛肉の輸入規制が緩和されました。栃木県では国際見本市（FOOD EXPO）への出展や商談会、フェア等の開催といった取り組みを通じて、牛肉など県産農産物の香港への輸出が伸びているとのことです。シンガポールの輸入規制の緩和を受けた県の積極的な売り込みにより、今後はシンガポールでの販路拡大も期待されます。

（岡田所長補佐　熊本県派遣）

CLAIR